



まつかぜ 松風

学校通信 令和7年度7月号
令和7年7月2日
日立市立大沼小学校
在籍数 490名

➤ 校訓：かしこく・やさしく・たくましく ◀



集団生活の中から学ぶ



校長 坪 聡子

梅雨はあったのかな？と思うような、一気に「夏本番の暑さ」の7月になりました。夏休みを前に、厳しい暑さではありますが、大沼っ子は元気です！既に夏バテ気味の私は日々パワーをもらっています。もちろん熱中症予防にも十分に気を付けていきたいと思います。

校長室前の「通称：かずみちゃん」プリント棚を前にした大沼っ子の会話です。

Aさん「今週算数のテストがあるよね？」Bさん「そうだね。どこが出るんだっけ？」Aさん「確か、グラフの所じゃなかった？」Bさん「じゃあ、テストに出るところ持っていこうか！」この会話を聞き、うれしくなりました。テストを前に「自分で必要だと思う内容のプリントを選択して持っていく」行為は、まさに本校が目指している「自律した児童の姿」だからです。

このように、6月は子供たちの学習意欲がぐっと高まった様子が見られました。授業では、真剣な表情で先生の話の聞いたり、タブレットを活用して個別に学習を進めたり、友だちと意見を交換したり、集中して作品を制作したり。子供たちの生き生きとした学びの姿に頼もしさを感じます。また、工夫して仕上げられた作品（掲示物）やしっかりとした文字で書かれたワークシート等、個性が光る作品とも出会いました。学校生活をはりきっている子供たちがたくさんいます！

だからこそ、自分の思い通りにならないことが出てくる頃かもしれません。学習のこと、遊びのこと、友だち関係・・・様々な場面でどのように折り合いをつけていくのか、どのように友だちに自分の思いを伝えていったらよいのかを学ぶことも集団生活の中では大切です。

ところで、最近の子供は自分の気持ちを言葉に表さず、暴力に訴えてしまう

ところが見られます。そのため、友だち同士のトラブルがよく発生します。そういう時は、双方の言い分を丁寧に聞き取り、ちょっとしたことでイラつき、その感情を暴力に訴えることは良くないことだと諭しています。互いに自分の思いや気持ちを言葉で伝えることの大切さも指導しています。暴力からは何も生みません。自分のイラついた気持ちのおさめ方や相手のことを考えられる子供に育てていきたいと考えています。

学校では、子供たちの失敗や気付きに注意して、成長につなげることができるように努めていきます。周りの人、相手の気持ちを想像して行動できる、発言できる力を育てていきます。まずは、大人の私たちが改めて意識し、学校・家庭・地域の皆さんと連携して子供たちの心を育てていきたいと思っています。

どうぞよろしくお願いいたします。



<お知らせ>

〇暑さ対策について

今年度も冷水機3台を稼働させています。水筒の中身がなくなっても補充できます。学校でもこまめに水分補給することを子供たちに声をかけ、熱中症対策をとっていきます。

※冷水は水道水を冷やしたものです。



行事予定



11日(月) <山の日>

12日(火) 学校閉庁日 ~8/16(土)

<学校閉庁日について>

8月12日(火)から8月16日(土)の期間は、学校に職員はおりません。

緊急のご連絡は、日立市教育委員会へ
お願いいたします。

日立市教育委員会電話：22-3111



- ・左写真「けてぶれの取組」教室掲示
- ・右写真「自由に取り組めるプリントを取る大沼っ子」



※ 10月4日(土)は、大沼コミュニティ推進
会主催「大沼まつり」があります。

本校では、4・6年生から希望者を
募り、運動会で披露した「花笠踊り」
(4年生)と「大沼ソーラン」(6年
生)を踊ります。

4・6年生はぜひ参加を希望してください。